

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 5 月 28 日 (2020.5.28)

【公開番号】特開 2020-60800 (P2020-60800A)

【公開日】令和 2 年 4 月 16 日 (2020.4.16)

【年通号数】公開・登録公報 2020-015

【出願番号】特願 2020-2230 (P2020-2230)

【国際特許分類】

G 0 2 B 5/22 (2006.01)

G 0 2 B 5/20 (2006.01)

B 3 2 B 7/023 (2019.01)

B 3 2 B 9/00 (2006.01)

B 3 2 B 15/01 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 5/22

G 0 2 B 5/20

B 3 2 B 7/023

B 3 2 B 9/00 A

B 3 2 B 15/01 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 3 月 27 日 (2020.3.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

全方向高彩度赤色構造色顔料の製造方法であって、
反射性コア層を乾式堆積すること；
 前記反射性コア層にわたって延在する金属吸収体層を乾式堆積すること；及び
 前記金属吸収体層にわたって延在する誘電体吸収体層を乾式又は湿式堆積すること；
によって多層積層体を製造することを含み、

前記多層積層体は、 a^*b^*L a b カラーマップ上での $0 \sim 40^\circ$ の間の色相を有する可
 視光を反射し、前記多層積層体の外側面に対する垂直方向 $0 \sim 45^\circ$ の間のすべての角度
 から見た場合に、前記 a^*b^*L a b カラーマップ上での前記 $0 \sim 40^\circ$ の範囲内の色相シ
 フトを有する、

全方向高彩度赤色構造色顔料の製造方法。

【請求項 2】

前記 a^*b^*L a b カラーマップ上で、前記色相が、 $10 \sim 30^\circ$ の間であり、及び前記
 色相シフトが、前記 $10 \sim 30^\circ$ の範囲内である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記反射性コア層が、 $50 \sim 200$ ナノメートルの厚さを有する、請求項 1 又は 2 に記
 載の方法。

【請求項 4】

前記反射性コア層が、反射性金属及び有色の金属のうちの少なくとも 1 つから作られる
 、請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 5】

前記反射性金属が、A l、A g、P t、S n、C r、及びこれらの組み合わせのうちの少なくとも1つである、請求項4に記載の方法。

【請求項6】

前記有色の金属が、A u、C u、真鍮、青銅、及びこれらの組み合わせのうちの少なくとも1つである、請求項4に記載の方法。

【請求項7】

前記金属吸収体層が、5 ~ 500 ナノメートルの厚さを有する、請求項1 ~ 6 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項8】

前記金属吸収体層が、C u、青銅、真鍮、アモルファスS i、G e、T i N、及びこれらの組み合わせのうちの少なくとも1つから作られる、請求項1 ~ 7 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項9】

前記誘電体吸収体層が、5 ~ 500 ナノメートルの厚さを有する、請求項1 ~ 8 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項10】

前記誘電体吸収体層が、F e₂O₃ から作られる、請求項1 ~ 9 のいずれか一項に記載の方法。